



WWW

ダブリュース

第9話





ルルの
活躍によって

鎖の拘束から
脱出した
アネッタと
エリーゼ



しかしルルは
バーンに
連れ去られて
しまい

バボックが
その行く手を
阻む



ルルを
救うため

闘いの
幕が
開ける

さあ

反撃開始と
行きますか

アネッタ

ルルを
お願い

お

へえ
任せて
いいの？

そっちこそ
バーンて人に
負けないで
よね

もちろん

次は
負けない
わよ



行かせ
るか!!



貴方の
相手は
こっちよ!!

ちっ







アネッタさん

ルル!!

今
助ける



そうは
行かないぜ



悪いな

これも
仕事
なんでね



うわ
っち

厄介な
炎ね



一つだけ
訊いても
いいかしら

.....

それ
フェムナ鉱石の
力でしよう

両手の腕輪に
埋め込んでる
のね

よく
分かったな

俺の
大切な
「恋人」さ

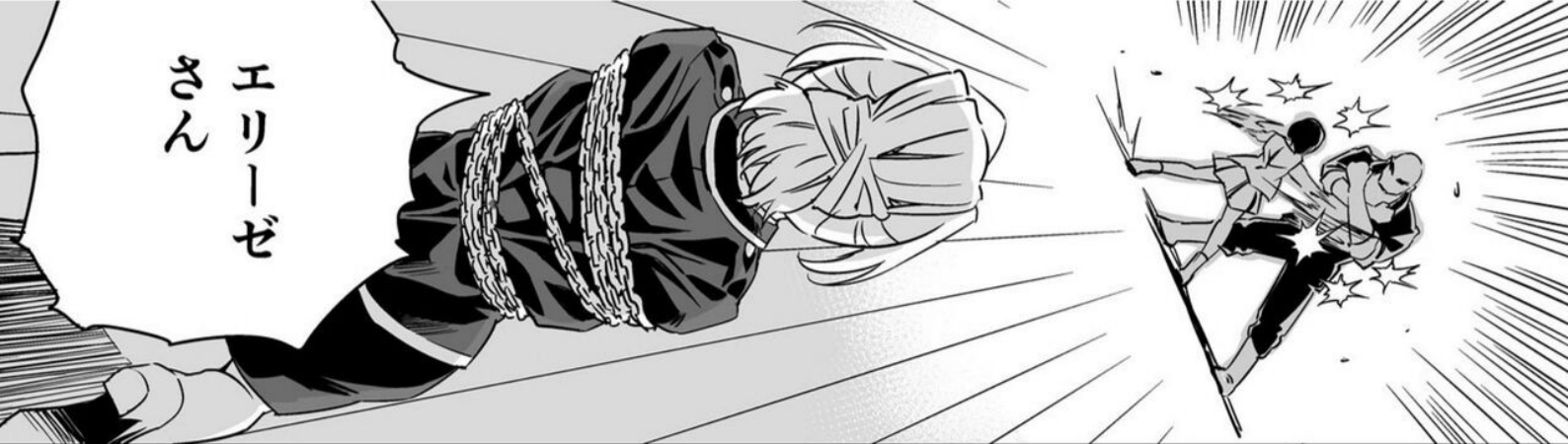
炎を操る
鉱石なんて
見た事
ないわ

……
貴方
何者なの？

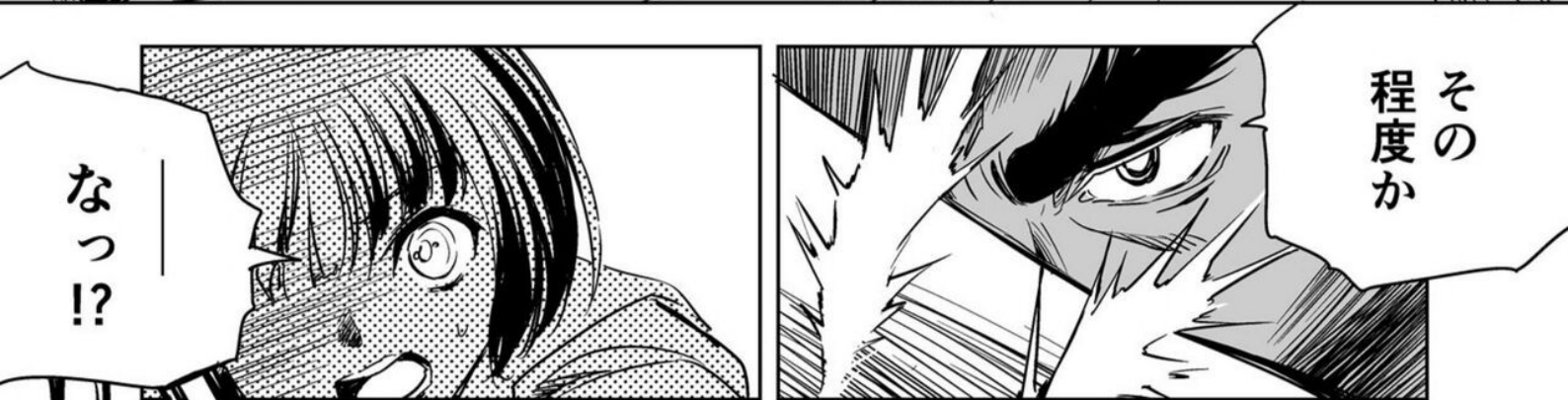
俺に
勝ったら
教えて
やるよ

うおおおお
ああああ



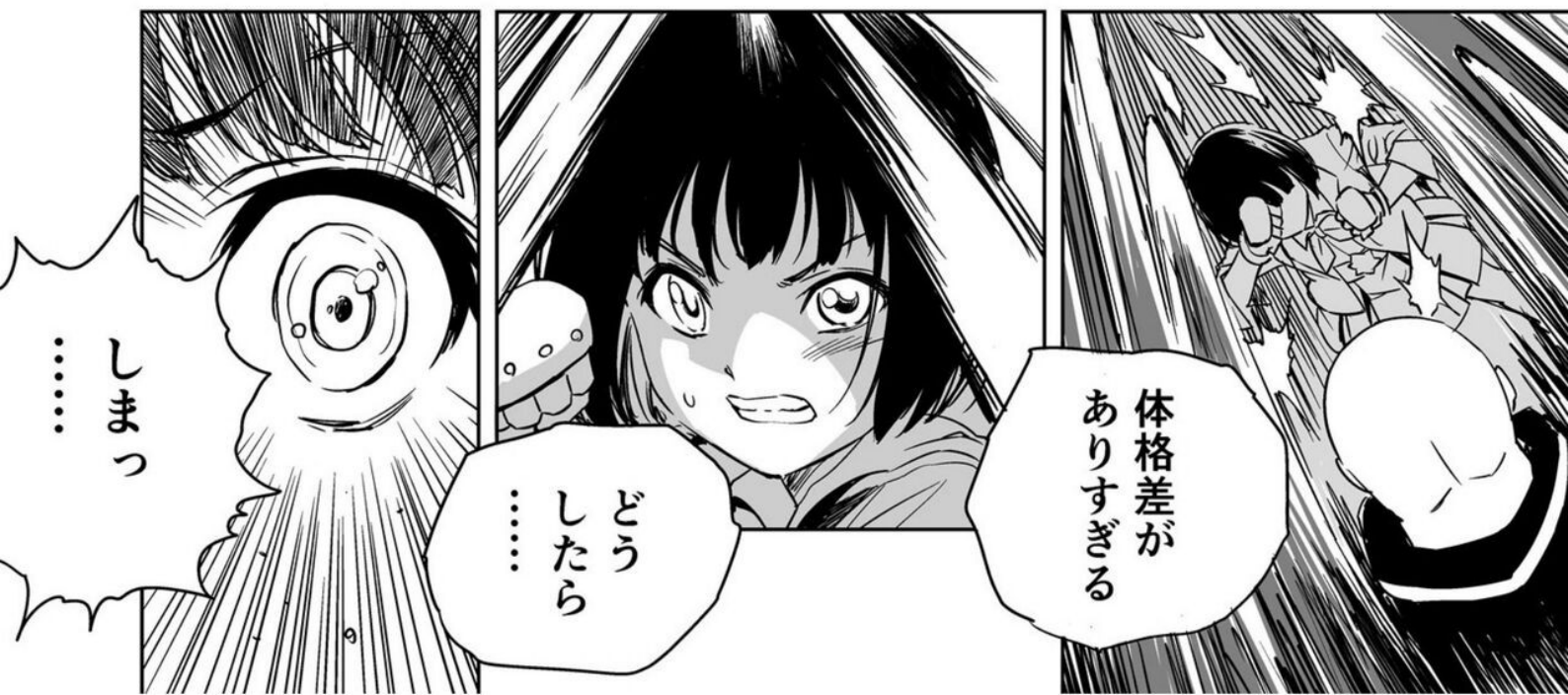


エリーゼ
さん



その
程度か

なっ!?



体格差が
ありすぎる

どう
したら
……

しまっ
……



かはっ



かはっ



あきやあ
あきやあ



ガッ
ガッ
ガッ

かはっ



エリーゼ
さん!!



ふん
弱いな



笑わせ
るなあ!!



この程度で
王女の
護衛か



いったい
どうしたって
言うんですか!?



もう止めて
下さい!!
隊長!!



……
キヤロル

私が入隊
した時の
隊長は

こんな事
する人じゃ
なかった
はずです

貴様が
憧れてた
人物など

最初から
居なかった
のだよ

た
隊長

鉄道
警備隊
などと言う

地位も
名声も
無い仕事

元から
反吐が
出る程に
嫌いだった

……
っ

そんな俺に
アルビオンの
話は

とても
魅力的
だった

この大陸を
ゆくゆくは
世界を
手に入れる

巨大な組織の
一員として
働ける

……
これほど
魅力的な
事は
無いだろう？

……
狂ってるわ

そう
言うな
キャロル

お前さえ
良ければ

アルビオンに
入れるように
口を利いても
良いんだぞ

お断り
です!!

私はこの
鉄道の
警備隊です

鉄道を利用する
皆さんの安全は
私が守る!

守る

……
だど？





嫌
っ



!! 放して

どうした？

死にかけの
乗客が
居るぞ？



俺を
倒さなくても
良いのか？

はあ

はあ

早く

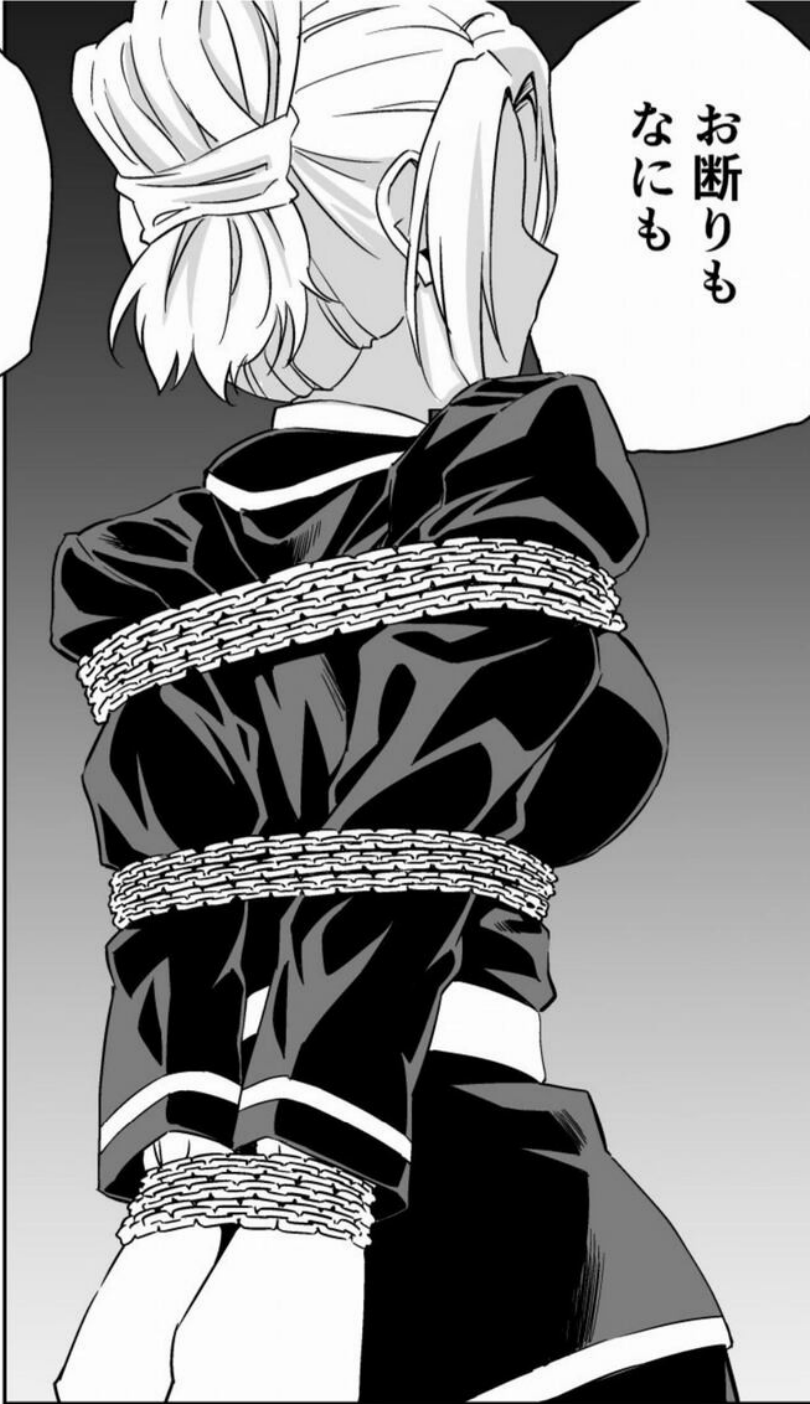
早く
立ち上
がら
ない

駄目
……

いやっ

……
やめ

力が
はい
ら
ない

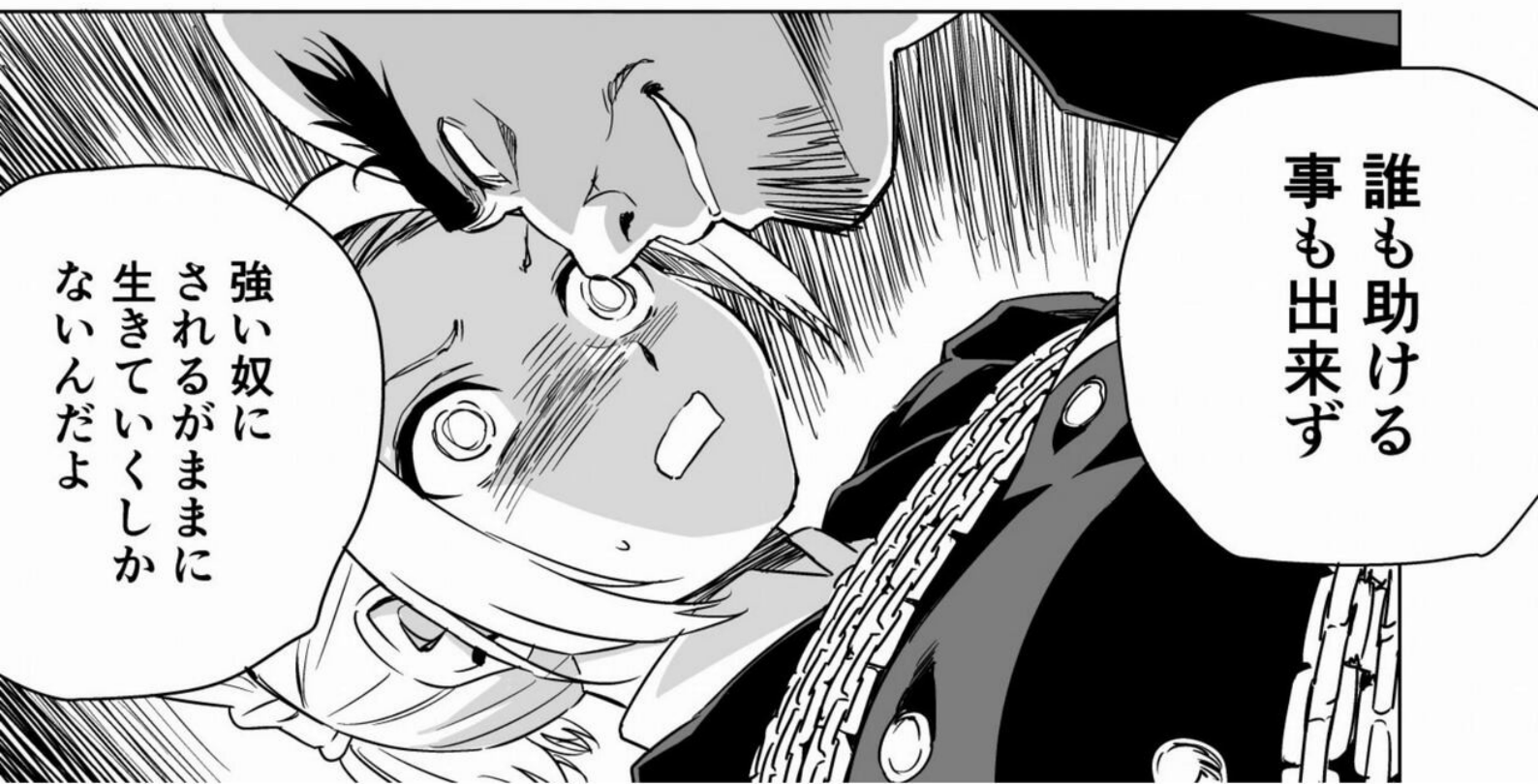


お断りも
なにも



縛られて
何も
出来ない

弱い奴は
そうやって
何も出来ず



誰も助ける
事も出来ず

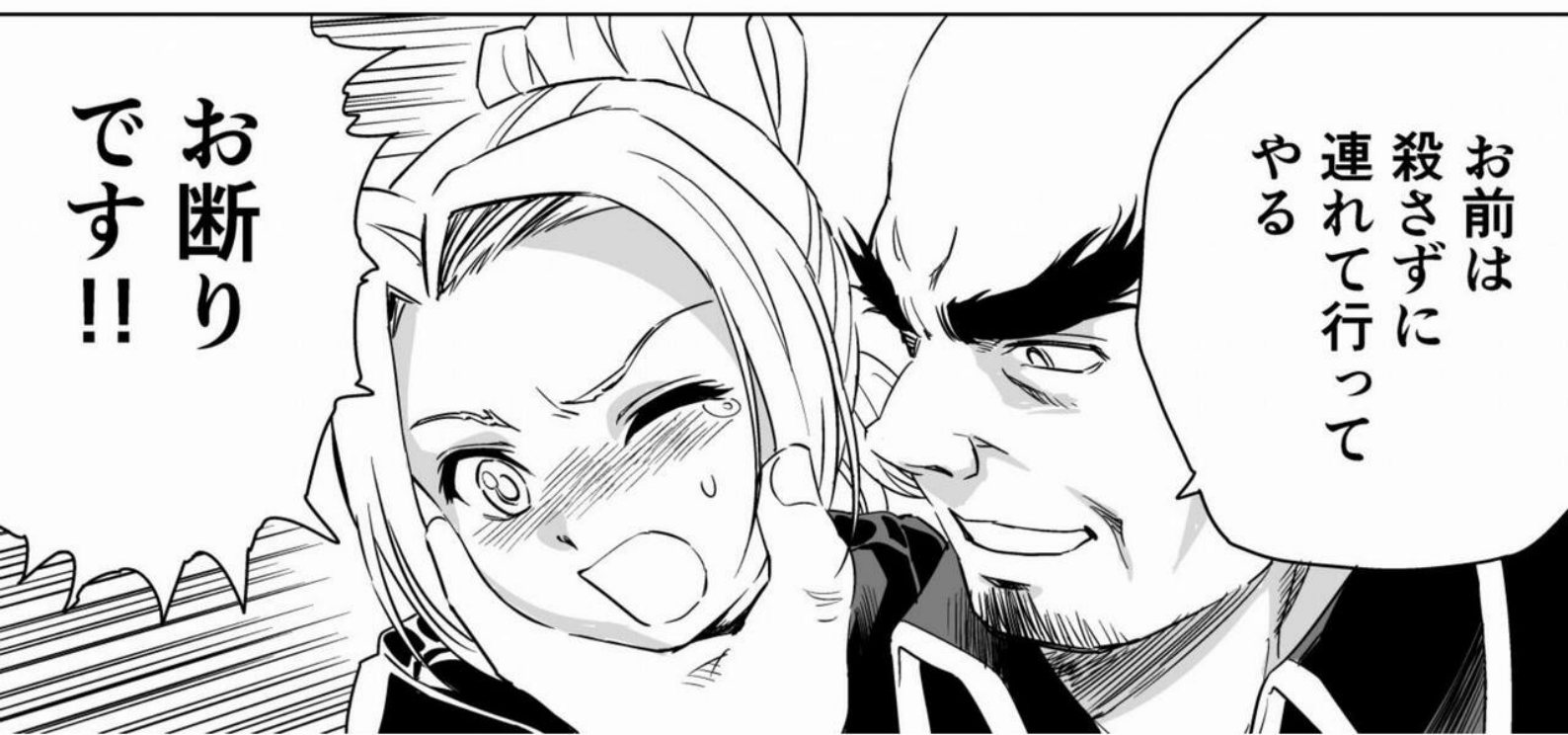
強い奴に
されるがままに
生きていくしか
ないんだよ



安心しろ
キヤロル



お前は
前から
気に入って
たんだ



お前は
殺さずに
連れて行って
やる

お断り
です!!



……
されるが
ままに
……



……
強い奴に



……
強く
なりたい
じゃと



なぜ……
いや
「何の為」に
強くなりたい
んじゃ？

……
うん



大切な友達が
盗賊に襲われて
「殺された」の

「アネッタ」ちゃん
だったか

……
可哀想
にの

……
だから
私は……

……
もう
二度と

大切な
友達を
失わない
様に

強く
なりたい

教えて
おじいちゃん

私に

くすのきりゅう
「楠流」の
闘い方を

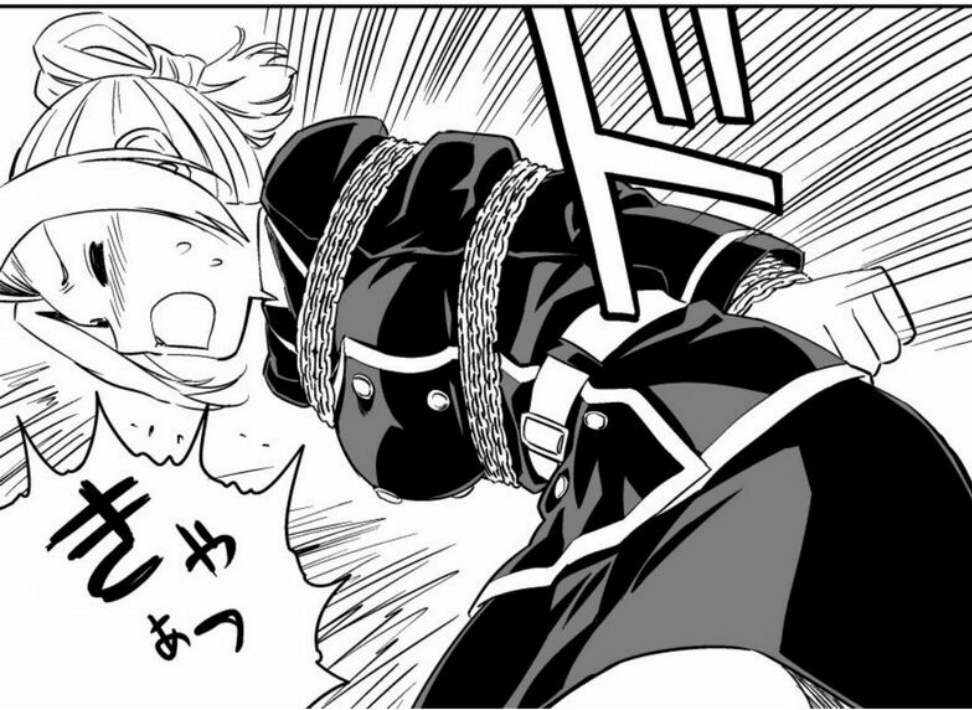
……

どこで
それを
聞いた？

お父さんと
お母さんが
話してるの
聞いたの

お祖父ちゃんは
東の大陸で
最強の格闘家
だったって

……
まったく



馬鹿な
女だ

大人しく
倒れてれば
楽にして
やったものを

はあ！

はあ！



エリーゼ
さん

逃げ
て！！



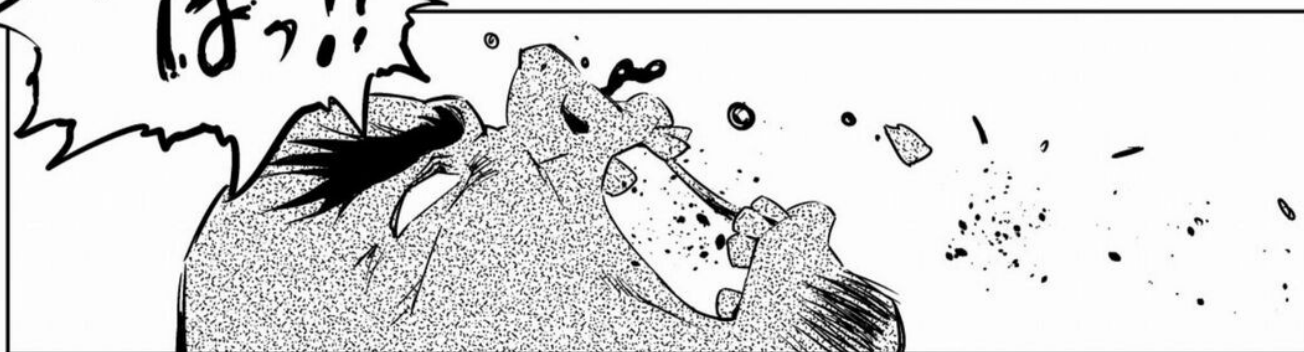
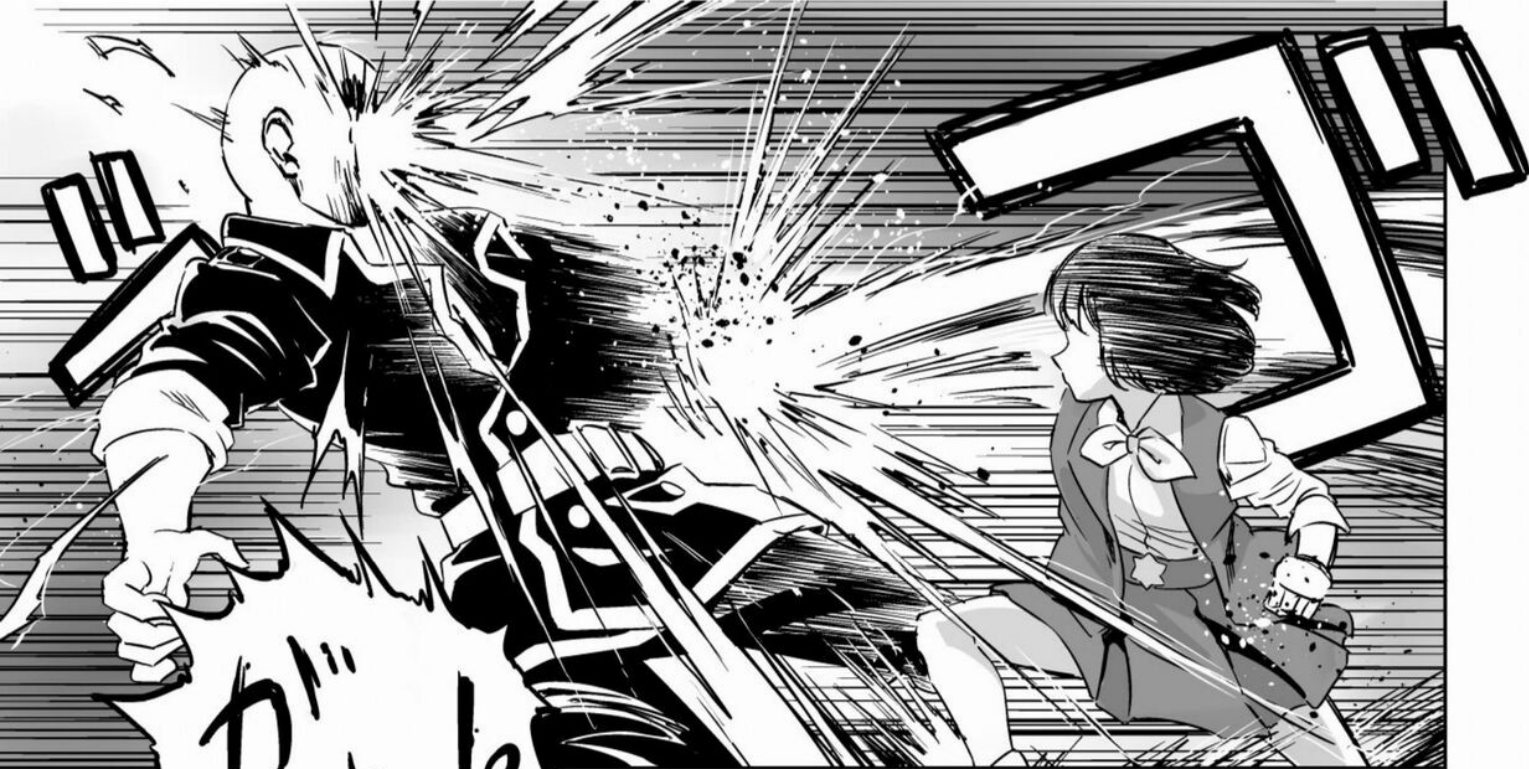
？
……



はあ

はあ





そうじゃ

どんな時にも
まずは
呼吸を行い

精神と
肉体の状態を
最前の状態に
持っていくんじゃ



……
ふーん

それは
良いけど
お祖父ちゃん

なんじゃ



……
何で私

縄で
縛られ
てるの？

残酷な
話じゃが



女である
お主は
どこまで筋肉を
つけようと

男に勝つのは
難しい





え？



まあ
待て

筋肉を
付ける事など
「いつでも」
出来る



そ
そんな事
ないよ!!



……
速さ……



力ではなく
「速さ」じゃ



エリーゼに
身につけて
ほしいのは



さあ
修行開始
じゃ!!



物を避ける
特訓じゃ

そうじゃ
まずはその
動きにくい
状態で



これには
砂が
つめてある

当たると
そこそこ
痛いぞ



痛い!!?



いたたっ

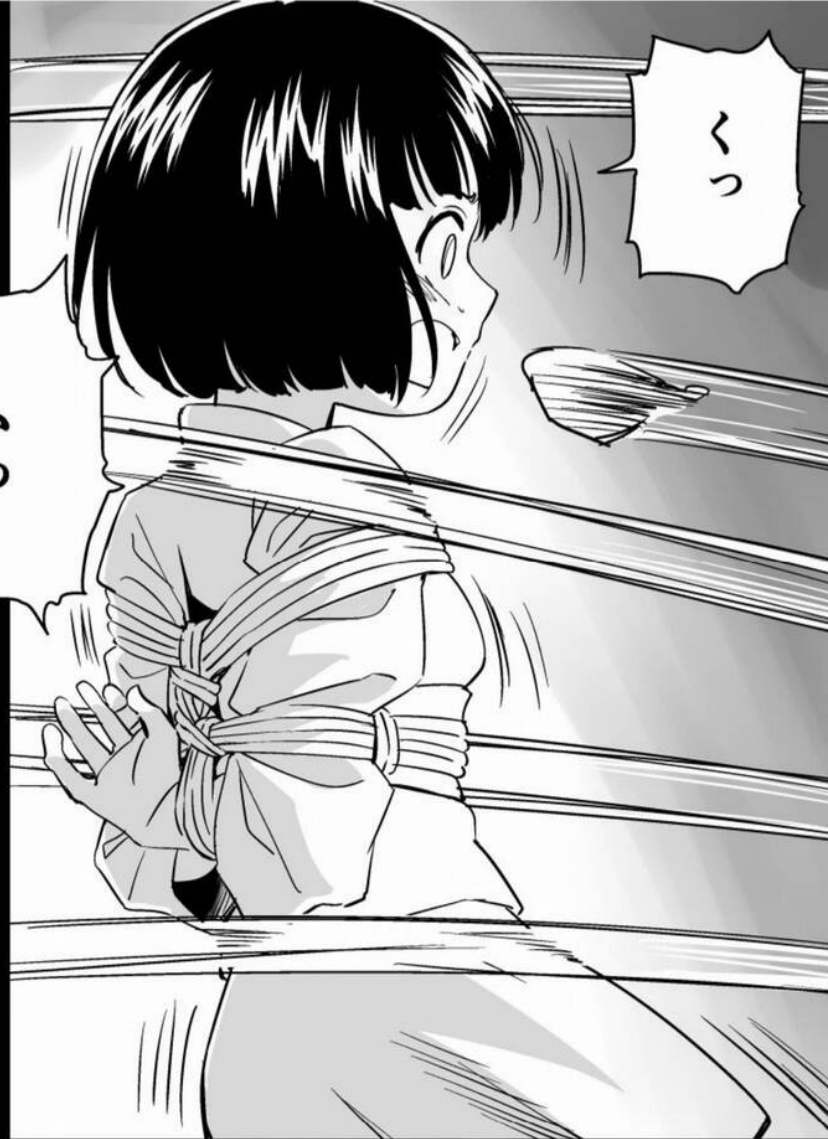
痛がつてる
暇はないぞ!!



ほれ
ほれ

ホイ
ホイ







目を
瞑るな!!

最後まで

袋の軌道を
見極め
るんじゃ!!

空気を
吸う

吐く

息を
止める



目を
瞑らない

最後
まで

軌道を
見極める



呼吸
を：

呼吸
を：

はあ！

すう…

いい気
になるよ

まぐれ
当たりで

は

オ



……
思い出した
からよ



なに？



な
何故だ

何故
急に



私が

強く
なりたい
理由よ



ふ

ギギリ！



ふざけた
事おおオオ
オオオ!!



奥義？

そう
じゃ

カウンター
だけで
相手を
倒せれば

決め技は
持っておいた方が
良いじゃろ

うん
うん!!

かっこ
良さそう!!

それに越した
ことは無いが

ふおおふおお
ふおお

大抵の
人間の
弱点は

そう

だからな
エリーゼ

顎じゃ

顎？

思い切り
相手の
下から

ぶっ飛ば
すんじゃ

くすのきりゅう
楠流!!



!!! 奥義





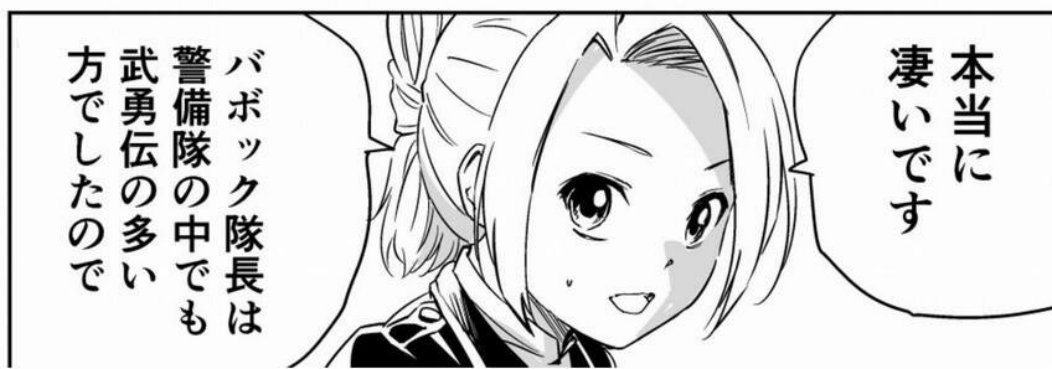
鉄てつ

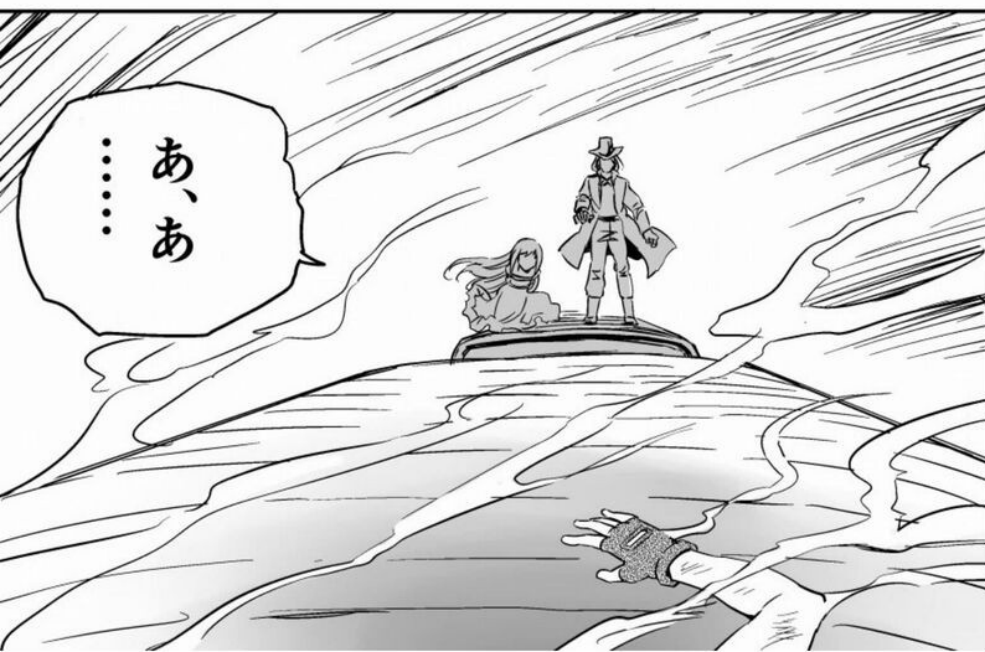
鼻しっぽう

拳けん

!!









アネツタ
さあん!!

アネツタ
さあああ
あん!!



悪いな
嬢ちゃん

さっさと
降参した
方が

身の為
だぜ

第9話 「二人の女と鉄の拳」